

県央経営者会会報

第四号

発行：平成18年1月

平成十八年初頭に当たつて

県央経営者会会長

大泉 政治



しました。その間、三回の例会と数回の理事会などの会合を持ち、会員の皆様のご意見をいただき、ようやく活動の方向が固まってまいりました。本年は、皆様のご意見をできるだけ反映し、参加しやすい活動を心がけてまいりたいと思います。

本年最初の例会は、二月七日に開催いたしましたが、そこで協議を経て、いよいよ四月に

公開例会を開くわけです。かねてよりわれわれの目指している相鉄線の秦野までの乗り入れを実現する端緒となる充実した公開例

会になるよう、皆様のお知恵をお借りしたいと思います。また、この公開例会は県央経営者会の活動を一般の皆様に知つていただく良い機会にもなりますので、ぜひとも成功させたいと考えております。

いずれにしましても、このような構想は十年十五年の単位で考えなければなりません。その意味で若い世代をこの活動に引き入れ、われわれの意志を引き継いで行つてもらわなければなりません。部会分けにしても月曜会にしても、そういう方向を見据えたものであることをご理解いただきたいと思います。

明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、穏やかな新年を迎えるれどこと思います。

昨年は、景気回復が本格化し設備投資が活発に行われるなど、企業業績が堅調に推移し、年末には日経平均株価が数年来の高値をつけ、先行きに明るさの見える年であります。本年も引き続き、安定的な経済情勢で推移するものと確信するところであります。

県央経営者会も発足して半年を経過いた

高顧問である元運輸大臣の亀井善之衆議院議員のお骨折りにより小田急電鉄の副社長

さて、昨年の十二月二十七日には当会の最

本年初頭のご挨拶といたします。

県央経営者会のさらなる発展を願いつつ、

特集

小田急電鉄副社長との面談が実現

～相鉄線・小田急線相互乗り入れの実現に向けて～

ち会つていただきました。

まず、大泉会長から本日の訪問の目的と県央経営者会の設立趣意が説明されました。そして相鉄線の小田急線への乗り入れにつきその実現性について質問すると、「現在相鉄さんは西谷駅からの延長線をJRの貨物線と結び、JRとの相互乗り入れに力を注いでいられるようだ。また、小田急電鉄も複々線化の事業がまだ十年くらいは続くと思われるので、この問題に對してすぐに取り組むのは難しいと思うが、相鉄線との相互乗り入れの問題はすでに先代の経営者が構想していたことで、複々線化事業が一段落したら可能性はあるでしょう」という前向きなご返事を頂きました。また、会長が四月に公開のシンポジウムを開き、この問題について一般の方たちと意見交換をするので、その席にぜひ小田急電鉄としても出ていただいて会社の方針を話してほしいとの依頼を伝えると、これに対しても前向きなご返事をいただくことができました。



大泉会長(左)と山本副社長(右)

一タを設置するよう進められていて、厚木・海老名間の高架化についても進めているとい

うことでした。海老名駅での乗り換えには階段があるので、エレベーターやエスカレーターの設置はバリアフリー化に向け大きな改善

になると思いますが、県央経営者会では相互乗り入れ実現によるバリアフリー化を目指していきたいと考えています。懸念されていた相鉄線との相互乗り入れ時の車両の幅は大した問題ではないとの話でした。われわれ素人にとっては、電車の車両幅の違いは大変大きな問題として存在していましたが、その問題は相互乗り入れに支障をきたすような大問題ではないということがわかりました。

この面談は午後2時半から40分ほどで終わりましたが、短い時間ではあっても会長の言うロマン・未来への夢の実現についてのわれわれの思いは十分に伝わったと考えています。またこれから予定としては、2月2日には相模鉄道の副社長との話し合いが、亀井議員のお骨折りにより決定しています。

(福島記)

暮れも押し迫った十二月二十七日(火)、大泉政治会長以下北村幹事、福島事務局長の三名で新宿の小田急本社を訪問し、取締役副社長の山本利満氏と執行役員総務部長の下岡祥彦氏との面談を行いました。この面談は、亀井善之衆議院議員のお骨折りにより実現したもので、当日は亀井議員の秘書役である大泉充彦氏がこの面談に立

この問題に関連して、海老名駅のバリアフリー化がどうなっているのかの質問に対しては、現在エレベータとエスカレ





県央経営者会第三回例会開催

日時 平成17年12月5日
会場 厚木ロイヤルパークホテル

平成17年12月5日、午後5時より厚木ロイヤルパークホテルにて「県央経営者会」の第三回例会が開催されました。当日は午前中からレイクウッドカントリークラブで懇親ゴルフ会が開催され、参加した32名の方たちが早々と集まり、合計90余名の会員が参加しました。今回は懇親ゴルフ会の運営を平塚地区の役員が、例会の運営を秦野地区の役員が担当して開催されました。司会進行は秦野地区的佐野英之氏が担当し、同じく秦野地区的山本道子氏の開会宣言で幕を開けました。まことに全員参加型の活動にしていきたい。

そして4月に公開討論会(例会)を開催して活動に勢いをつけ、相鉄線の秦野への乗り入れに何とか目途をつけられればと考えている。」ということと「月曜会の開催についてぜひ参加してほしい。」とのお誘いがありました。次に小林常良県会議員からのご挨拶と、かねてより会の活動にご指導いただいている奥村隆史コンサルタントの自己紹介がありました。最後に6件の新会員の紹介があり、今回参加されている東京三菱銀行の乙竹信一氏、

(株)カナオリの佐藤政弘氏、(株)イカイ厚木の本田久米子氏、三井住友銀行の西村賢氏、(株)都南自動車教習所の中山智晴氏よりそれぞれご挨拶をいただきました。

本日の講演は、県央経営者会会員でもある吉川設計二級建築事務所の吉川昭氏により行われました。内容は壮大な構想とアイデアに満ちたロマンあふれるもので、県央経営者会の進むべき方向とある意味共通な考え方が示され、会員の興味を引く内容でした。講演の後に、大泉会長より理事の宇山忠男氏、が秦野市長選に立候補していることと、われわれの仲間として応援していきたいとの報告がありました。その後事務局報告と次回例会が2月7日に厚木商工会議所で開催される予定であること、この例会は「公開例会に向けて」と題して行われることが報告されました。

最後に山本ビルの山本秀夫氏により閉会宣言が行われ、無事例会は終了しました。引き続き会場を移して懇親忘年会が盛大に行われました。

議員からのご挨拶と、かねてより会の活動にご指導いただいている奥村隆史コンサルタントの自己紹介がありました。最後に6件の新会員の紹介があり、今回参加

県央経営者会例会



講師の吉川一級建築事務所 代表 吉川氏

本題に入る前に、現在大問題となつてゐる姉歛建築設計士による構造偽装問題について、一部の業者ではなく、設計業界全体が大変な窮状にあると
いう話がありました。

県央は相模川により2つの地域に分かれていますが、この地域を川を中心にしてうまく結合して、南と北の大きな二つの都市、すなわち湘南市と湘北市に結合する

ことが「アクアタウン構想」の出発点となります。この中心を新幹線が貫きそこに湘南新駅が誕生します。ここで考えなくてはならないのが自然との共生です。これからの中都市づくりは産業主導型の都市づくりから卒業し、「人や地球にやさしい街」づくりを目指さなければなりません。そういう意味で「環境共生都市構想」がこれからの方の考え方の中心となるべきものだと思います。

「湘南・湘北アクアタウン構想」はこのような考えに立って検討したものです。北は、宮ヶ瀬湖をもとに環境と共生できるテーマパークをつくり、トライアスロンのような大会を企画する。そこへの交通手段は、相模川の水系に沿つて走る「湘南・湘北アクアライナー」という新交通システムで行く。その次は、清川文化村構想で、陶芸や絵画の「安らぎと創



造」をテーマとしたところ。さらに南に下りてくると都市型温泉の地、飯山に行き着く。ここはスパリゾートタウンとして生まれ変わるのはないだろうか。そしていよいよ新幹線の湘南新駅「倉見新駅」がある。倉見新駅は川の上につくり、駅の上と下を橋が通るようにして周辺を有効に活用することを考える。さらに南下して「湘南ニューポート」にたどり着く。相模湾に空港が浮かび、その周辺は湘南ロードとしてスポーツ愛好家の一大パーク施設を考える、といった壮大な計画です。



「神奈川県県央湘南地域総合整備計画における湘南・湘北アクアタウン構想」

講師 吉川一級建築事務所

代表 吉川 昭氏

いざれにしても市や町の境界を取り払い、いかにしてこれから県央をつくっていくかが大切なのはないでしょうか。この構想は官に対抗しようといふものではなく、むしろ補完しようとするもので、言い換えれば官の構想と民の構想を一体にした「ツイン構想」を実現しようとするものです。日本中に神奈川県の「県央」という名前が知れ渡れば、このプロジェクトの意味があつたものと信じます。



乾杯の発声は福森 登理事



談笑する大泉会長と山口厚木市長



特別会員の小島一郎厚木市議会議員

懇親忘年会

懇親忘年会は、大泉会長の挨拶の後、福森理事の乾杯の音頭でスタートしました。司会進行は平塚地区の宮下宗大氏がつとめ、最初に昼間行われた懇親ゴルフコンペの成績が発表されました。優勝はネット65で回った信成電気の小林氏でした。(ゴルフ結果は別表参照)

次に多忙のなか駆けつけていただいた山口厚木市長からご挨拶をいただき、金井酒造の佐野英之氏肝いりのソプラノ独唱とピアノ演奏が参加者の耳を癒しました。(ソプラノ独唱は二期会会員の小林真由美さん、ピアノ演奏は昭和音楽大学非常勤講師の古瀬安子さん)

最後に懇親忘年会のクライマックス、参加者40名に当たる福引大会が盛大に行

ソプラノ独唱(小林真由美さん)と
ピアノ演奏(古瀬安子さん)

われ、大泉会長がポケットマネーを出された10万円の商品券は厚木田園学園の小沢俊通氏が見事に引き当てました。そのほか賞品として、小金井酒造様、吉川醸造様、金井酒造様から、清酒それぞれ3本ずつ、オーカーズミーツ様より2000円の割引券20枚をご寄附いただきました。



特別会員の渡辺紀之伊勢原市議会議員



和気藹々とした懇親会



bingoで大泉賞の商品券10万円を獲得した、小沢会員

懇親事業 第一回ゴルフコンペ開催

■日 時 平成17年12月5日
 ■会 場 レイクウッドカントリークラブ
 ■参加者 34名 運営担当地区:平塚・秦野



初めての懇親ゴルフコンペが
レイクウッドカントリークラブで開催
されました。当日は天候にも恵まれ
、参加者は32名、和気あいあ
いの中にも真剣なプレーが展開
されました。優勝は(有)信成電
気の小林昭仁氏でした。



県央経営者会第一回懇親ゴルフ大会成績

順位	氏 名	グロス	HD	NET	備 考
優勝	(有)信成電気 小林 昭仁	75	6	69	ドラコン
準優勝	(有)信成電気 宮下 宗大	72	2.4	69.6	ベスグロ
3	(株)ふじや硝子 内藤 伊知朗	78	7.2	70.8	ニヤピン
4	相原電機(株) 相原 英生	95	22.8	72.2	
5	(株)日動計画 柳川 忠一	93	20.4	72.6	
6	(有)金井酒造店 佐野 英之	92	19.2	72.8	当日賞
7	(株)フィールドアップ 野上 元	79	6	73	
8	(有)古賀産業 古賀 弘	91	18	73	
9	(株)福森鐵工所 福森 真司	89	15.6	73.4	
10	いちかわライズビジネス(株) 市川 稔	87	13.2	73.8	
11	(株)武相 吉村 保典	92	18	74	10位賞
12	(株)大和ケミカル 中村 幹夫	98	24	74	
13	(株)アール 浜田 勝昭	83	8.4	74.6	ドラコン
14	(株)北上製作所 江口 廣	87	12	75	
15	(株)山本ビル 杉本 秀夫	92	16.8	75.2	
15	学校法人厚木和田学園 和田 貴樹	92	16.8	75.2	
17	(株)エル・スポート 李 国秀	84	8.4	75.6	
18	草山会計事務所 草山 美博	89	13.2	75.8	
19	厚木港ポンプ工業(株) 松井 郁夫	94	18	76	
20	サニー工業(株) 中辻 重三	100	24	76	
21	(株)厚木地所 小笠原 隆	112	36	76	20位賞
22	(有)TOM 久保田 英賢	104	27.6	76.4	
23	和栄工業(株) 橋本 靖志	103	26.4	76.6	
24	(株)オーネックス 大屋 廣茂	90	13.2	76.8	
25	松上産業(株) 松上 潤司	113	36	77	
26	(株)ニクス 坂本 英夫	103	25.2	77.8	
27	(株)あい薬局グループ 金 知出	108	30	78	
28	サンインテルネット(株) 三田 佳美	101	22.8	78.2	
29	(有)三笠工業社 井上 康男	99	20.4	78.6	
30	(株)オーワズミ 大泉 政治	117	36	81	
31	(株)ダイシン 大泉 秀治	115	32.4	82.6	
32	(株)タウンニュース社厚木支社 山本 道子	123	36	87	ブービー賞
	プロゴルファー 榎本 七郎	65	0	65	ニヤピン
	プロゴルファー 野上 浩壱	79	9.6	69.4	

敬称略

事務局便り

2月例会ご案内

日時 2月7日(火)午後6時半より

会場 厚木商工会議所5階大会議室
内容 公開例会に向けての準備例会となり
ます。

月曜会ご案内

2月13日の第2月曜日から正式にスタート
します。
詳細は追ってご連絡します。

事務所の開放について

1月より県央経営者会の事務所を会員の
会議や打ち合わせに無料で開放いたします。
毎週火曜・木曜は全日、月曜・水曜・金曜日の
時間についてはご相談下さい。連絡は事務局
まで。

事務局のファックス番号が 変わりました

事務局のファックス番号が次のように変
わりましたので間違わないようにお願ひし
ます。

[新FAX番号]

046-206-9110

なお電話番号は従来どおりの番号です。